

プロジェクター(MC-TW3506J, MC-AW3005, MC-BW302J) フィルター掃除について

本機のフィルターユニットは、エアフィルターと、フィルターカバーから構成されています。エアフィルターは二枚構成となっており、頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、ほこりの多いところでは定期的(例:2ヵ月に1回の清掃)な確認とお手入れをお勧めします。

エアフィルターの掃除や吸気口のチェックをお願いするメッセージが表示された場合や、温度インジケータが赤く点灯した場合は、すぐにエアフィルターの掃除、または交換を行ってください。

また、ランプを交換するときは、エアフィルターも交換してください。交換用ランプには、本機用のエアフィルターが付属しています。

【エアフィルターの掃除手順】

以下の手順に従って掃除してください。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

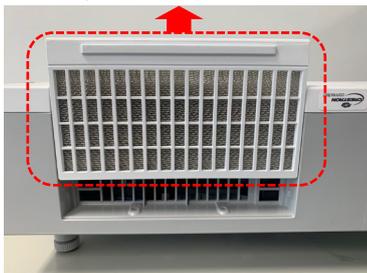


スライドレール設置の場合、電源プラグはインターフェーススイッチャー付近のコンセントに接続されている白いケーブルです。

2. フィルターユニットとその周辺を、掃除機で掃除してください。



3. フィルターユニットをプロジェクター本体から外してください。



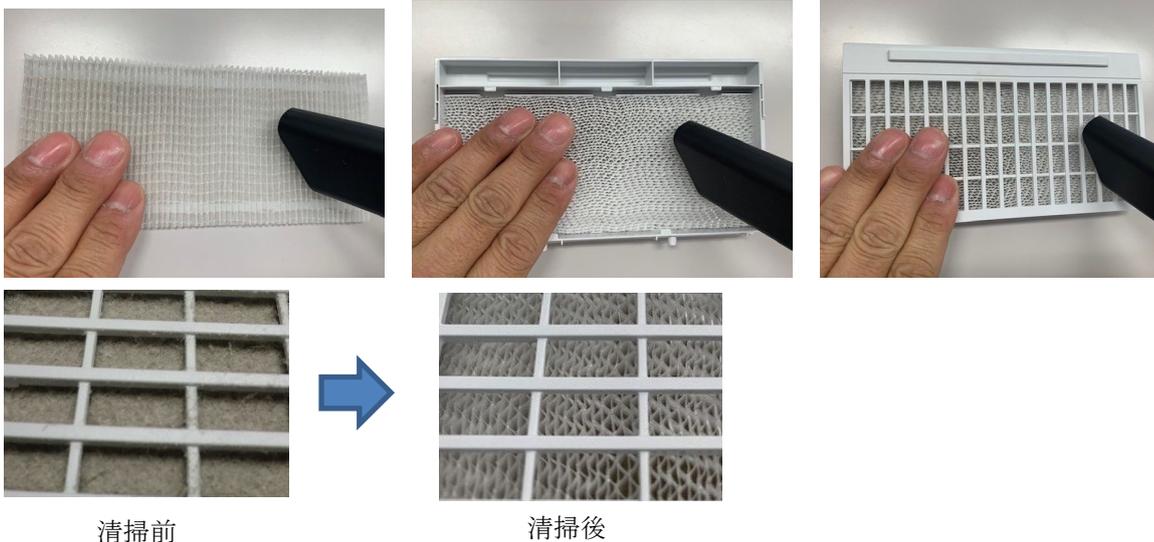
4. 本機の吸気口(フィルターユニットが取り付けられていた部分)と、フィルターユニットの外側(フィルターカバー)を、掃除機で掃除してください。



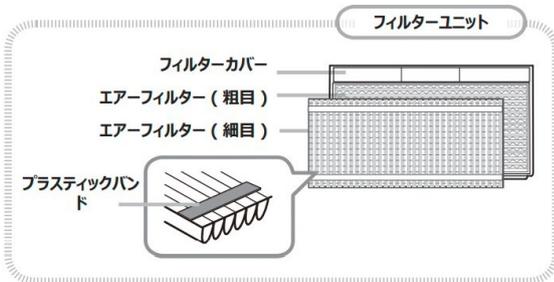
5. フィルターカバーをもって、細目のエアフィルターを取り外してください。粗目のエアフィルターはフィルターカバーに残すようにします。



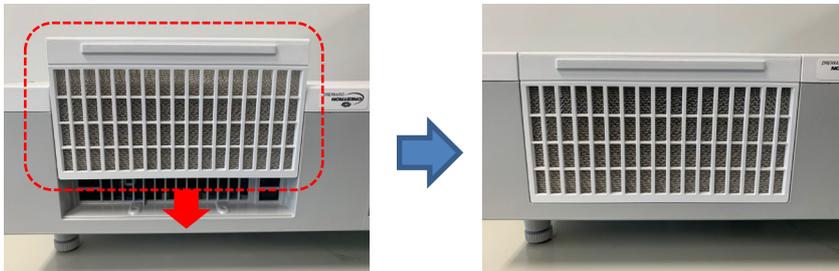
6. 掃除機で吸い込んでしまわないように片手で押さえながら、各エアフィルターの両側を掃除機で掃除してください。フィルターが痛んでいたり、汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。



7. フィルターカバーに細目のエアフィルターを元のように戻してください。粗目のエアフィルターの上に細目のエアフィルターを、プラスチックバンド側を上にして置いてください。



8. フィルターユニットをもとのように本体に取り付けてください。



9. 本機のメニューを使って、フィルター時間を初期化してください。
- (1) 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」を表示させてください。
 - (2) カーソルボタン▼ / ▲で「フィルター時間」を選択し、カーソルボタンを押すと、フィルター時間を初期化するダイアログが表示されます。
 - (3) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン▶を押すと、フィルター時間が初期化されます。



【警告】

● フィルターユニットをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

フィルターユニットをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

● フィルターユニットは正しく使用し、定期的にお手入れする

フィルターユニットがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

▶フィルターカバーやフィルターユニットを外した状態では使用しないでください。

▶フィルターユニットは必ず指定のフィルターユニットを正しくご使用ください。

【お守りください】

● フィルター時間の初期化は正しく行ってください。

フィルターユニットをお手入れしたら必ずフィルター時間を初期化してください。フィルターユニットをお手入れせずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のフィルターユニットの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

【お知らせ】

● 本機の「その他」メニューの「フィルター掃除通知」機能をご使用になると、お手入れ時期をお知らせするメッセージを表示することもできます。

● 内部の温度が上がりすぎる事を防ぐため、「吸気口をチェックしてください」などのメッセージが表示されたり、本機の電源が切れる場合があります。